

## コンパス薬局横浜西スキルアップ勉強会

### わき汗、多汗の治療薬 第162回『ラピフォートワイブ』

マルホ株式会社 東様

2022.08.29佐々木瞳

参加者:相原、佐々木、岡田、前田、番場、岩橋、山口、大塚

原発性局所多汗症は、頭部・顔面、手掌、足底、腋窩に、温熱や精神的な負荷の有無に関わらず、日常生活に支障をきたす程の大量の発汗を生じる疾患と国内外で定義されている。国内の原発性局所多汗症全体の有病率は12.76%であり、年齢別有病率は25歳から29歳が最も高く、社会的な行動範囲が広く、生産性の高い年代での有病率が高い。原発性局所多汗症のうち、腋窩に過剰な発汗を起こすものを原発性腋窩多汗症と呼び、左右対称性に多量の発汗を認める。

**【効能・効果】**  
原発性腋窩多汗症

**【用法用量】**  
1日1回、1包に封入されている不織布1枚を用いて薬液を両腋窩に塗布する。

**【主な副作用】**  
散瞳、ドライアイ、羞明、霧視、排尿困難、頻尿、口渇、接触皮膚炎、湿疹

**【禁忌】**

- 閉塞隅角緑内障の患者[抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状を悪化させることがある。]
- 前立腺肥大による排尿障害のある患者[抗コリン作用により排尿時の膀胱収縮が抑制され、症状が悪化するおそれがある。]
- 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

**【注意点】**

- 抗コリン作用により、羞明、霧視、散瞳等の目の調節障害があらわれることがあるので、自動車の運転等、危険を伴う機械の操作に従事する際には注意するよう患者に十分に説明すること。また、刺激を感じることがあるので、眼に入らないよう注意すること。万一、眼に入った場合は、直ちに水で洗い流すこと。
- 発汗が促進される環境下では、本剤の発汗抑制作用により、体温が上昇するおそれがある。熱中症を疑う症状があらわれた場合には、適切な処置を行うよう患者に指導すること。
- 創傷や湿疹、皮膚炎等がある部位への使用は避けること。体内移行量が増加し、抗コリン作用に基づく副作用があらわれやすくなる可能性がある。
- 使用直前に開封すること。
- 本剤は1回使い切りである。使用後は患者及び他者が触れないところに廃棄すること。
- 本剤を扱った後は、その手で眼に触れず、直ちに手をよく洗うこと。

**【考察】**  
原発性腋窩多汗症の治療には、レーザー治療、手術療法などがあるが、本剤は侵襲的な既存治療が適応できない患者にも使用できることから、原発性腋窩多汗症の新たな治療選択肢となると考える。  
薬局としては、ワイブを使用する際には手で直接触れる必要があり、薬液が手に付着してしまうため、薬液が付いたままの手で目など他の場所に触れることがないように手洗いを徹底するように服

薬指導していく必要がある。

**【質疑応答】**

Q1:使用方法について、ワイプは全面をまんべんなく使うようにして拭いたほうがよいか？

A1:特に細かい指定はないため、そのまま同じ面をずっと使っても問題ない。

Q2:使用感や香りはどうか？

A2:無水エタノールを含むため、アルコール臭がある。塗布時もアルコールが蒸発するような感じがある。

Q3:手洗いのやり方の目安

A3:流水で10秒程度の手洗いが推奨される。石鹼の有無によって薬液の落ち方に違いはみられない。

Q4:何歳から使えるか？

A4:9歳以上の患者に使用できる。

Q5:効果はどれくらいから実感ができるか？

A5:臨床試験では1-2週間程度で改善がみられている患者が現れているが、継続により徐々に効果がでてくる薬剤のため毎日の継続使用が必要。